

「がん診療・外来化学療法室特集」
兵庫医科大学病院のがん診療



がんセンター長
中野 孝司 主任教授

■がんセンター・外来化学療法室の活動

がんは、昭和56年からわが国の死亡原因の第一位であり、現在では、年間約70万人ががんになり、約35万人が死亡しています。国民の2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで亡くなっておられます。兵庫医科大学の院内がん登録によると、平成19年から23年までに当院を受診された新規のがん患者さんは約1万人にのぼります。急速な高齢化に伴って、今後、がんに罹る確率が一層増加することが予測され、がん対策は、極めて重要な課題となっています。

兵庫医科大学病院には、平成19年11月にがんセンター・外来化学療法室が開設されました。がん診療支援室、緩和ケアチーム、院内がん登録室などとともに、専門的ながん診療を担っています。外来化学療法室は、通院での抗がん剤治療を担当するとともに、当院で施行される化学療法の内容を審査し、標準化するための活動も行っています。がん診療支援室では、専門の相談員が窓口となって、医師や看護師、ソーシャルワーカーなどと連携を取りながら、院内外のがん患者

さんや御家族の様々な相談に対応しています。緩和ケアチームは、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士などの職種で構成されており、がん患者さんの身体的・精神的苦痛の緩和、生活の質の向上という目的を共有したチーム医療を実践しています。がん登録は、わが国のがん医療を正確に推進していくために極めて重要な情報となり、現在、当院の院内がん登録室では、年間約2500例以上の診療情報を収集・登録しています。

■外来化学療法室の実際

当院は、平成17年から既に通院での化学療法を開始し、毎月1500、2000件の抗がん剤治療を行っています。平成19年11月、8号館4階にがんセンター・外来化学療法室が新設され、常勤スタッフを置き、専門



写真1 外来化学療法室スタッフ

図1 年度別外来化学療法室利用者数の推移

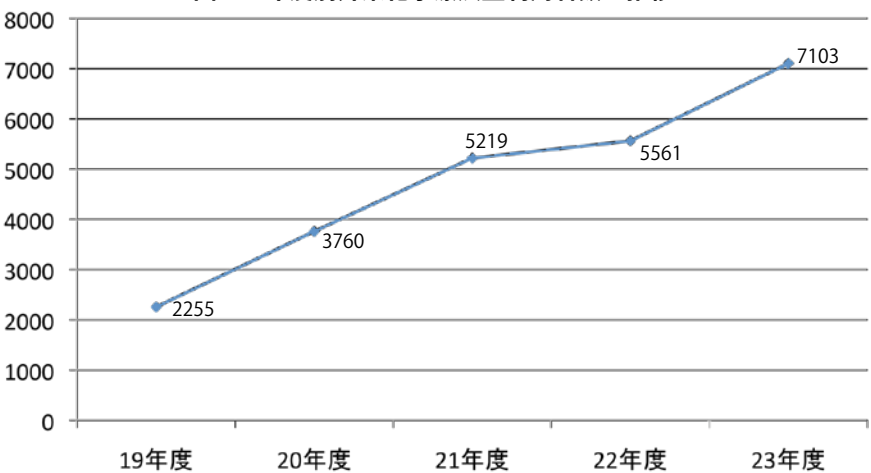


図2 月間外来化学療法室利用者数の推移

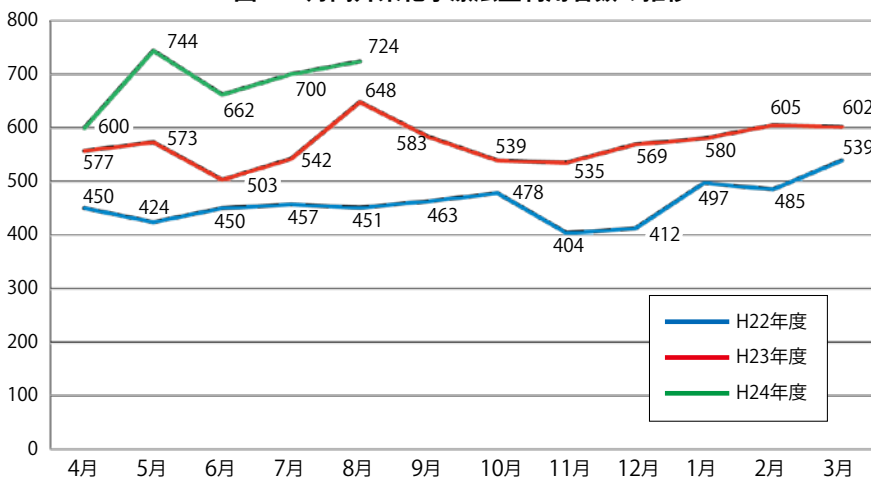


図3 診療科別外来化学療法室利用者の構成比率 (平成23年度)

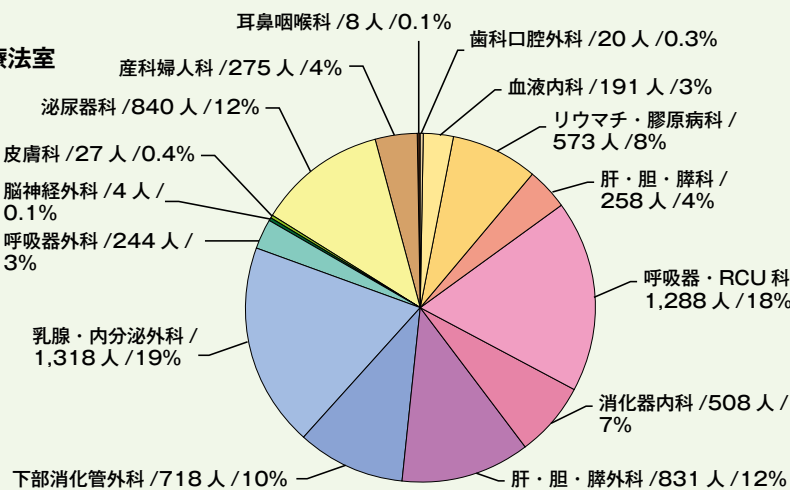


表1 使用頻度の高い外来化学療法レジメン

がん腫	化学療法レジメン
乳がん	5-FU+エピルビシン+エンドキサン タキソテール+エンドキサン
肺がん	アリムタ+シスプラチン(パラプラチン) タキソテール+TS-1 カンプト+シスプラチン ペブシド+パラプラチン
胃がん	TS-1+シスプラチン カンプト+シスプラチン
大腸がん	FOLFOX(エルプラット+レボホリナート+5-FU) FOLFIRI(カンプト+レボホリナート+5-FU)
膵がん	ジェムザール
前立腺がん	リューブリン
卵巣がん・子宮がん	タキソール+パラプラチン
多発性骨髄腫	ベルケイド+デカドロン
非ホジキンリンパ腫	リツキサン+トレアキシ

チーム医療を実践していく中で、看護師の果たす主な役割としては、①化学療法実施当日の点滴管理、症状観察、副作用チェック、生活指導、治療内容や副作用などに対するパンフレットを用いた指導、②初回化学療法実施後の入院患者さんに対する外来化学療法導入のオリエンテーション、③各診療科病棟および外来看護師との連携などが挙げられます。一方、薬剤師は、外来化学療法室に隣接する薬剤調製室において、安全キャビネット内で薬剤の無菌的な混合調製を行っています。調製までの流れは、医師によって入力された化学療法レジメンオーダーを前日まで確認し、抗がん剤などの薬剤を準備しておきます。化学療法当日は、医師が患者さんの体調や検査データを確認し実施可能と判定すると、薬剤師が薬剤の混合調製を行います。また、患者さんが安心して治療を受けられるように、ベッドサイドで薬剤の効果や副作用の説明も行っています。さらに、がん専門薬剤師による処方監査や薬歴管理などによって、安全性の高い化学療法の実施に努めています。

がんは、遺伝子の病気であることから、がん細胞の遺伝子情報を調べることによって、個々のがん患者さんに最適な治療を提供する「個別化医療」（オーダーメイド医療）が提唱されるようになりました。近年、乳がん、肺がん、胃がん、大腸がん、白血病では、治療前に遺伝子検査を行い、治療薬の効果が期待できるかどうかを調べてから治療薬を選択する場合が多くなっています（表2）。これらの治療薬には、がん細胞の増殖や転移にかかわる部分だけをピンポイントで攻撃する「分子標的治療薬」が多く含まれています。がん薬物療法は、「分子標的治療薬」の登場によって、飛躍的な進歩を遂げています。表2に挙げた薬剤以外にも、従来の抗がん剤では効果の乏しかったがん腫である肝がん、腎がん、膵

■個別化医療の進むがん薬物療法

がんは、遺伝子の病気であることから、がん細胞の遺伝子情報を調べることによって、個々のがん患者さんに最適な治療を提供する「個別化医療」（オーダーメイド医療）が提唱されるようになりました。近年、乳がん、肺がん、胃がん、大腸がん、白血病では、治療前に遺伝子検査を行い、治療薬の効果が期待できるかどうかを調べてから治療薬を選択する場合が多くなっています（表2）。これらの治療薬には、がん細胞の増殖や転移にかかわる部分だけをピンポイントで攻撃する「分子標的治療薬」が多く含まれています。がん薬物療法は、「分子標的治療薬」の登場によって、飛躍的な進歩を遂げています。表2に挙げた薬剤以外にも、従来の抗がん剤では効果の乏しかったがん腫である肝がん、腎がん、膵

表2 個別化医療の対象になるがん腫と抗がん剤

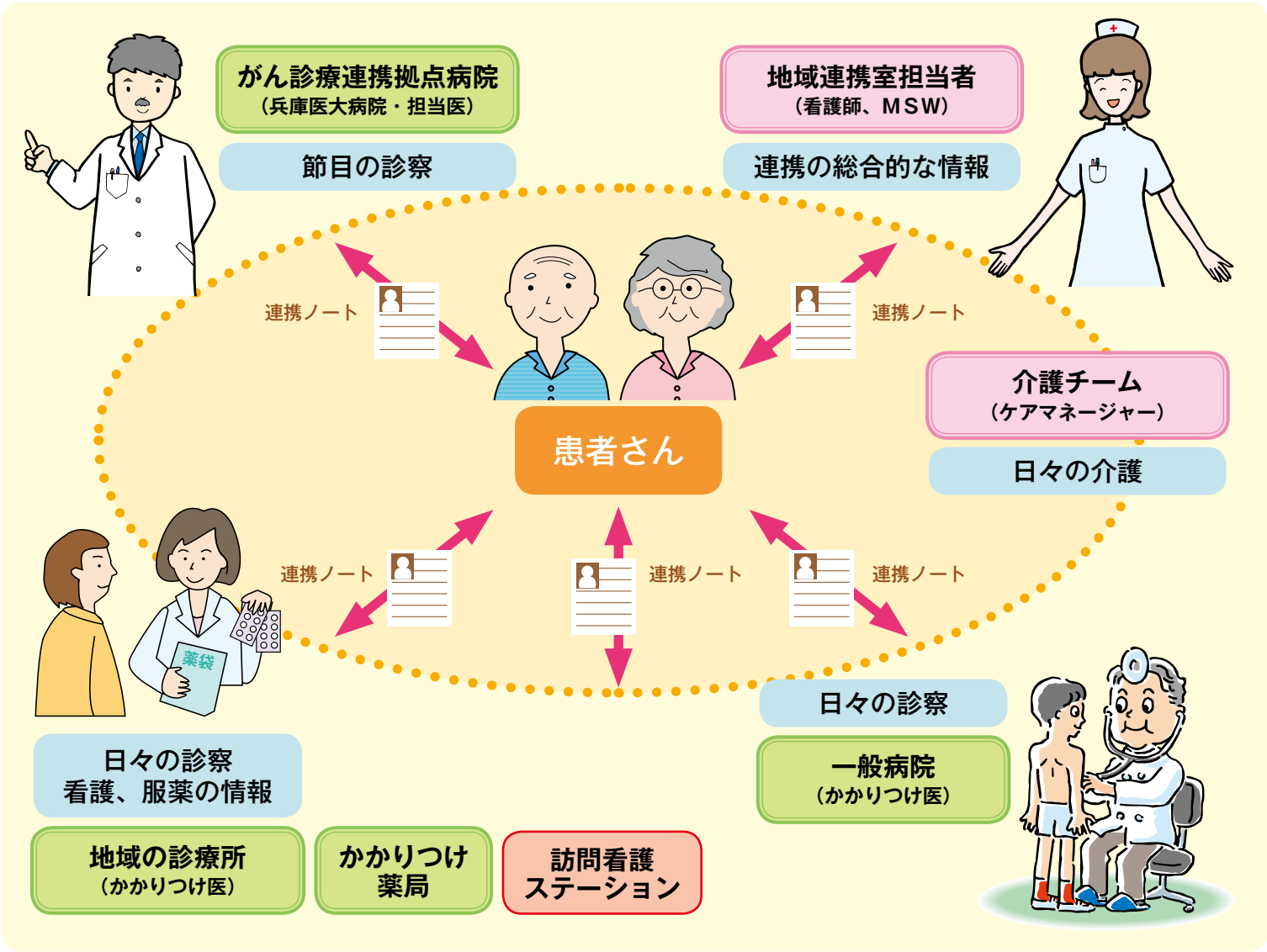
がん腫	薬剤名（一般名）	効果を予測する因子
乳がん	ハーセプチン（トラスツマブ）	HER2タンパクの過剰産生
胃がん	ハーセプチン（トラスツマブ）	HER2タンパクの過剰産生
肺がん	イレッサ（ゲフィチニブ） タルセバ（エルロチニブ）	EGFR遺伝子の変異がある
肺がん	ザーコリ（クリゾチニブ）	EML4-ALK 融合遺伝子がある
大腸がん	アービタックス（セツキシマブ） ペクティビックス（パニツムマブ）	KRAS遺伝子の変異がない
慢性骨髄性白血病	グリベック（イマチニブ）	Bcr-Abl融合遺伝子がある
消化管間質腫瘍	グリベック（イマチニブ）	KITタンパクの産生

がんに対する分子標的治療薬（ネクサバー、スーテント、タルセバ）が導入され、生命予後の改善が認められています。また、がんの増殖や転移を促進する血管の働きを抑える血管新生阻害薬（アバスチン）も従来の抗がん剤と併用することで有効性が示されており、外来化学療法を受ける大腸がんや肺がんの患者さんに対して積極的に投与されています。

■がんの地域連携クリティカルパス

がんの地域連携クリティカルパス（がん地域連携パス）とは、がん診療連携拠点病院と地域の連携医療機関（かかりつけ医）が作成する役割分担表、地域連携診療計画表などから構成される、がん患者さんに対する診療全体を体系化した仕組みのことです（図4）。がん診療の質を保証し安全を確保するためには、がん地域連携パスを効率よく運用し、がん診療における医療機関の役割分担を明らかにするとともに地域連携を強化していく必要があります。

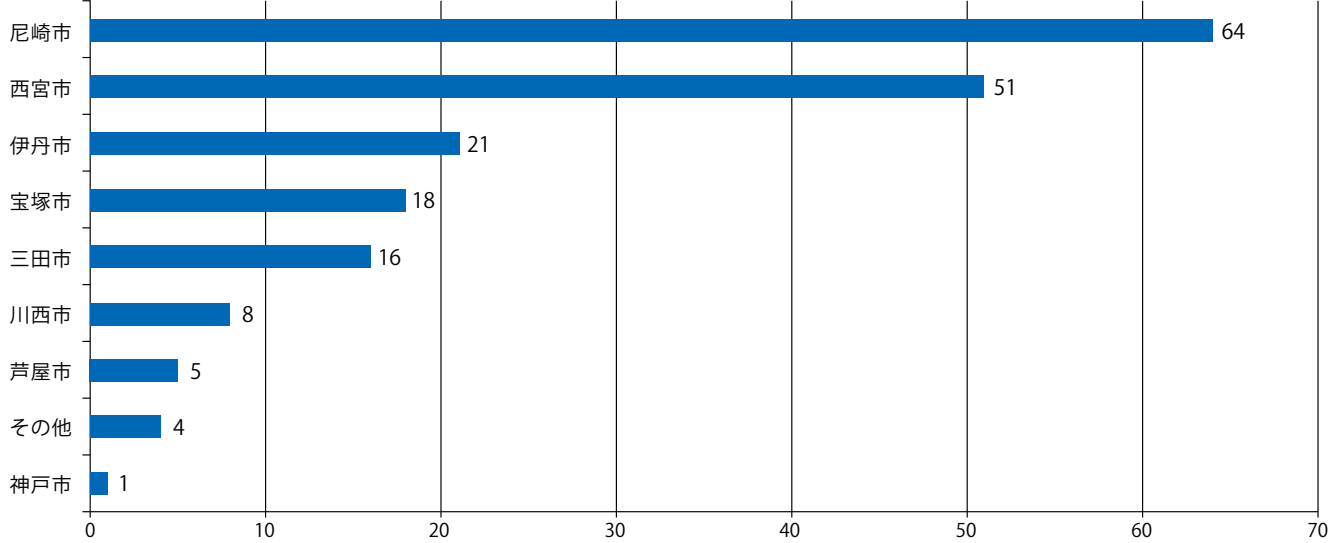
図4.「がんの地域連携パス」



「がん対策基本法」に基づく「がん対策推進基本計画」およびがん診療連携拠点病院の指定要件の見直しに伴って、国の施策として、5大がんの地域連携パスの整備が求められています。このような状況の下、県内のがん診療連携拠点病院などによって構成される兵庫県がん診療連携拠点病院等連絡協議会では、平成22年10月に県内の医療機関において共通して利用できる5大がんの地域連携パスを作成し、その運用を開始しました。このパスを活用すること

によって、地域の連携医療機関（かかりつけ医）とがん診療連携拠点病院とが協力して情報交換を行い、患者さんの視点に立った、安心で質の高い医療を提供することが可能となりました。患者さんにとっては、待ち時間や通院時間の短縮、ご自身の治療計画や経過の把握、緊急時の診療体制の確立による不安の解消といった利点にもつながっています。「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けている兵庫医科大学病院では、現在、西宮市や尼崎市をはじめと

図5 地域別5大がん診療連携医療機関（届出済み） 平成24年9月1日現在（188機関）



した近隣の医療機関188施設との連携体制を築いており、乳がんや肺がんの術後患者さんを中心として診療連携を開始しています（図5）。がんセンターは、がん診療に携わる様々な職種、診療科、医療機関の垣根を越えた人と人とのつながりによって、チーム医療と診療連携を実践し、増加するがん患者さんに安全で、かつ信頼される高度な医療を提供することを目的として、日々活動を続けていきたいと思っています。

⚠️時間外選定療養費徴収について

平成24年9月1日より、時間外外来受診において緊急性を認めない患者さんには、時間外選定療養費（時間外受診における保険外負担金をお支払いいただいています）。

当院の時間外外来は、緊急性の高い患者さんを受け入れております。しかし、時間外外来を受診される患者さんの中には、緊急性を認めない患者さんも少なからず受診されており、本来の目的である重症の患者さんへの迅速な対応に支障をきたす場合があります。このような状況を改善するため、医師の診断の結果、緊急性を認めないと判断した場合、診察代や文書料等とは別に時間外選定療養費を徴収させていただきます。

地域の皆様に安全で質の高い医療を提供するためのやむを得ない措置ですので、皆様のご理解をお願い申し上げます。

徴収金額 8,400円(税込) 診察代や文書料等とは別です。

※初診の患者さんで、他の医療機関からの当院宛紹介状（診療情報提供書）の持参がない場合は、初診に係る選定療養費 **5,250円(税込)** も併せてお支払いいただきます。＜合計：**13,650円(税込)**＞

徴収対象時間帯	
平日	18時～翌日8時
第1・3・5土曜	12時30分以降
第2・4土曜/日曜/祝日/年末年始/創立記念日(11/22)	終日

《 以下に該当する場合は、徴収対象外となります 》

- ・受診後、そのまま入院となった場合
- ・当院で診療継続中の傷病の症状増悪によって、時間外に受診の必要があった場合
- ・緊急で当院の時間外外来受診を目的とした、他の医療機関からの当院宛紹介状を持参された場合
- ・当院の医師より、あらかじめ時間外外来受診を指示されていた場合
- ・その他、時間外外来担当医師が、緊急性があると判断した場合

■クロアチア共和国から実習へ



ヨーロッパ・バルカン半島のクロアチア共和国にあるリエカ大学より、3名の交換留学生が訪れ、8月27日から9月19日まで、当院にて実習を行いました。

3名は下部消化管外科、脳神経外科、循環器内科でそれぞれ実習を行い、クロアチアにおける医療と日本の医療の違いを学びました。職員や学生も多くの刺激をうけ、互いに学び合える良い機会となりました。

また、兵庫医科大学ではリエカ大学を含む3カ国4大学と学術交流に関する協定を結び、広く国際的に人的交流や情報交換を行っています。診療や治療の見学など、みなさんご協力をお願いします。

■病院食を楽しむ

入院患者さんの病院食の安全管理、品質管理のため、臨床栄養部では毎日、検査を行っています。検査は日替わりで病院長、看護部長、看護師長、常勤理事などが参加し、様々な立場から味付けや量、盛り付け、色彩などを確認します。その結果を元に、より満足度の高い食事提供に努めています。

メニューは、朝食はパンかご飯が選択でき、夕食も週3回はお好みで2種類から選択できます。また、特別病棟では漆調や強化磁器製の食器を使用し、盛り付けも工夫がされています。



特別病棟の病院食

■急性医療総合センターの開設時期について

急性医療総合センターは平成25年6月開設予定でしたが、平成25年4月開設に変更となりました。4月の開設に向け、10月より順次病棟の移転がはじまっており、ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力を宜しく願います。



平成24年10月1日
武庫川河川敷より撮影

壁や床の内装工事が
進められています

■内視鏡手術支援ロボット ダ・ヴィンチを導入



平成24年9月、国内で53台目、兵庫県内では2台目（8月末時点）となる最先端の手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入します。

「ダ・ヴィンチ」は主にロボットアーム部、執刀医が操作する操作

部、助手用モニターの3つの医療機器で構成されています。実際の手術での使用はまだ少し先になりますが、「ダ・ヴィンチ」の導入により、低侵襲手術が可能になり、より傷口が小さく、入院期間が短縮できます。主に前立腺がんの手術等での活用が期待されています。

■子どもたちに笑顔を

ぼこぼこつぷのパフォーマンショー

平成24年8月27日、小児の患者さんを対象としたパフォーマンショーが開催されました。パントマイムやバルーンアートなどのクラウニング（道化師芸）に、子どもたちも手をたたいたり歓声をあげたり、笑顔いっぱいでした。

ショー終了後

は、病室を離れることができない子どもたちのために小児科病棟を訪問し、バルーンアートを披露していただきました。子どもたちの輝く笑顔に、ご家族の方も心癒された様子でした。



上手な診療の受けかた

患者さんもチーム医療の仲間です！

納得して医療を受けていただくために、医師や看護師、病院職員だけでなく、患者さんにもちょっとした心がけをお願いします。

① かかりつけ医をもちましょう。

ご自宅の近くで継続的におかかりになる主治医（かかりつけ医）をもちましょう。

② 自分の状態をうまく伝えましょう。

お薬の服薬状況、症状、過去の病気などについて正確な情報提供をしましょう。「お薬手帳」を持参しましょう。

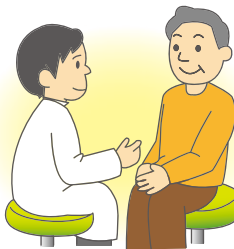


③ 病気や治療法を理解しましょう。

説明の中でわからないことや疑問に思うことはそのままにせず、その場で聞きましょう。処置が説明と異なると思った時、いつもと違うと感じた時は遠慮なく医師または看護師に申し出ましょう。

④ お名前を何度も何度もお伺いします。

患者さんの誤認防止のため、診察や処置、検査の際に、お名前を名乗っていただきます。何度も何度もお伺いしますが、ご自分のお名前をフルネーム（姓名）で名乗ってください。



「くすりの話」

湿布にはパップ剤とテープ剤があります

打ち身やねんざなどに使う貼り薬の湿布には、大きく分けてパップ剤とテープ剤の2種類の貼り薬があります。パップ剤はフェルトの布に薬剤を厚めに塗ったもので、テープ剤はポリエチレンフィルムなどに薬剤を粘着剤と一緒に薄く塗ったものです。これらの大きな違いは、テープ剤は貼ったときに目立ちにくいということです。テープ剤は、柔らかくて粘着性が優れているのでよく動かす関節部分などに適しており、肩こりや腰痛など慢性の痛みに適しています。パップ剤は、保湿効果が高いので薬の吸収がよくなっています。また、冷却用もあるので炎症による腫れを冷やすときに使うと効果的です。最近では、インドメタシンなど炎症や痛みを抑える薬のパップ剤が増えてきています。新しいパップ剤は吸収促進剤を組み合わせることで、関節内部や筋肉の奥深くまで直接効果を与えることができます。



くるみ薬局では、「地域に密着した、信頼と親しみのおける、かかりつけ薬局」を目指しております。
お気軽にご相談ください。

阪神電鉄武庫川駅西口を出て右手すぐにありますので、お気軽にお立ち寄りください。



くるみ薬局では、すべての病院・医院の院外処方せんを受け付けております。

住所：〒663-8124 兵庫県西宮市小松南町1-17-30
電話番号：0798-46-1155
FAX番号：0798-46-1157
営業時間：月～金曜日 9:00～18:00
土曜日 9:00～14:00
*処方せん受付は8:30から行っております。
定休日：第2、第4土曜日、日曜祝日

くるみ薬局 武庫川店
<http://www.kurumi-ph.jp>

処方せん受付

N I S H I P H A R M A C Y

西薬局 武庫川店

✿ 兵庫医大病院 の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、**1号館1階 院外処方せんFAXコーナー**より、処方せん用紙をFAXして頂きますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、大変便利です。**西薬局**にて、無料のFAX送信カードをご用意致しております。
お気軽にお申し付けくださいませ。

✿ 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

西薬局 武庫川店

TEL：0798-43-3232
FAX：0798-43-3233
月 曜 ～ 金 曜 9:00～18:00
第1・3・5土曜 9:00～14:00
休 日 第2・4土曜 日曜・祝日
薬局前に **P** アリ



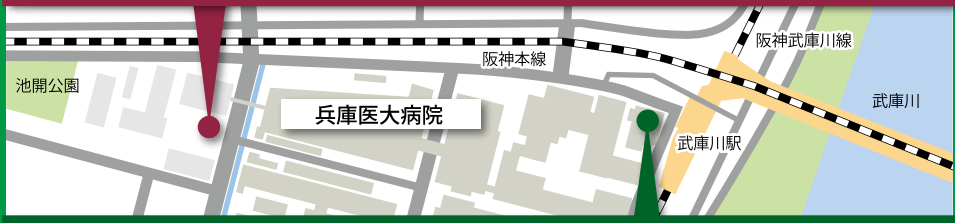
処方せん受付

兵庫医科大学病院、全国の医療機関の処方せんを受け付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。
皆様のご利用をお待ちしております。

武庫川店

【営業時間】月～金 8:30～17:30 第1・3・5土曜 8:30～13:30
【定休日】第2・4土、日、祝日
TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039



【営業時間】月～金 8:30～17:30
【定休日】土、日、祝日
TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

武庫川駅前店

より良い医療サービスの提供がすべてです。

株式会社 阪神調剤薬局
<http://www.hanshin-dp.co.jp>



誰もがすこやかに、笑顔でいられる毎日。

健康のこと、お薬のことお気軽にご相談ください

アイセイ薬局 武庫川店

兵庫県西宮市池開町3-20
Tel. 0798-44-3577
Fax. 0798-41-6400

開局時間 月～金 8:30～17:30
土(第1,3,5) 8:30～13:00
定休日 第2,4土・日・祝日



AISEI
www.aisei.co.jp

兵庫医大病院等、どちらの医療機関の処方せんでも受付いたします

兵庫医大病院、全国の病院・医院の処方せん、お受けします。

ワタキュー薬局 武庫川駅前店

月曜日～金曜日 9:00～18:00
第1・3・5土曜日 9:00～14:00
第2・4土曜日、日曜、祝日はお休みです。

TEL 0798-42-6702 平663-8131 西宮市 武庫川町2番19P-1ビル1階
FAX 0798-42-6703 ◀無料ファックスカードをご用意してお待ちしております。

あなたの健康サポートします。

笑顔で、ていねいに対応いたします。
各種クレジットカードもご利用いただけます。



市民健康講座のお知らせ

開催日	テーマ	講演者
11月7日(水)	認知症について	内科 神経・脳卒中科 主任教授 芳川 浩男
11月28日(水)	津波が起こった時、あなたは どうしますか?～いざという時の備え～	看護部(救急看護認定看護師) 看護主任 山田 裕基 看護師 徳田 瑞枝
12月12日(水)	知っているようで知らないワクチンの話 ～子供だけじゃない、大人も必要!～	看護部(感染管理認定看護師) 看護部長 一木 薫 看護主任 小松 美雪

開催場所・時間 10号館3階 第3会議室 15:00～16:30 申込み不要、参加費不要

お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 電話番号：0798-45-6035(直通)

バックナンバーは兵庫医科大学のホームページよりご覧いただけます。
<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/hospitalnews.html>

または、[学校法人兵庫医科大学 病院NEWS](#) で検索してください。